

平成30年度「みんなで支える森林づくり上伊那地域会議」第2回

【現地視察調査日程及び内容】

11月13日(火)

- 13:30 伊那合同庁舎 ・ 集合 3階 301号会議室
局長あいさつ、日程説明(7分)
- 13:40 伊那合同庁舎 ・ 出発 公用車に分乗
- 14:10 伊那市長谷 ① 溝口地区
(里山整備及び里山整備利用地域)
概要説明(20分)
- 15:00 伊那市高遠町 ② 高遠第2・第3保育園
(やまほいくのフィールド)
概要説明(20分)
- 16:00 伊那市ますみヶ丘 ③ 伊那西小学校
(学校林の活用)
概要説明(20分)
意見交換(15分)
- 17:00 伊那合同庁舎 ・ 到着 解散

※時間は当日の流れにより前後する場合がありますので御了承下さい

◆地域概要



溝口区里山整備利用推進協議会

面積：806ha

構成員：12団体
22名

平成21年に溝口区の森林整備を行うため、「溝口里山創り隊」が組織され、以後竹林整備、間伐作業等を実施してきた。このほかにも、各団体が里山を活用した講習会や薪づくり等に取り組み、森林の利活用が地域ですすんでいた。

近年は、特に国道152号線沿線での整備の要望がたかまっており、税事業を活用して整備をすすめるほか、区全体の里山の整備計画を作成していく。

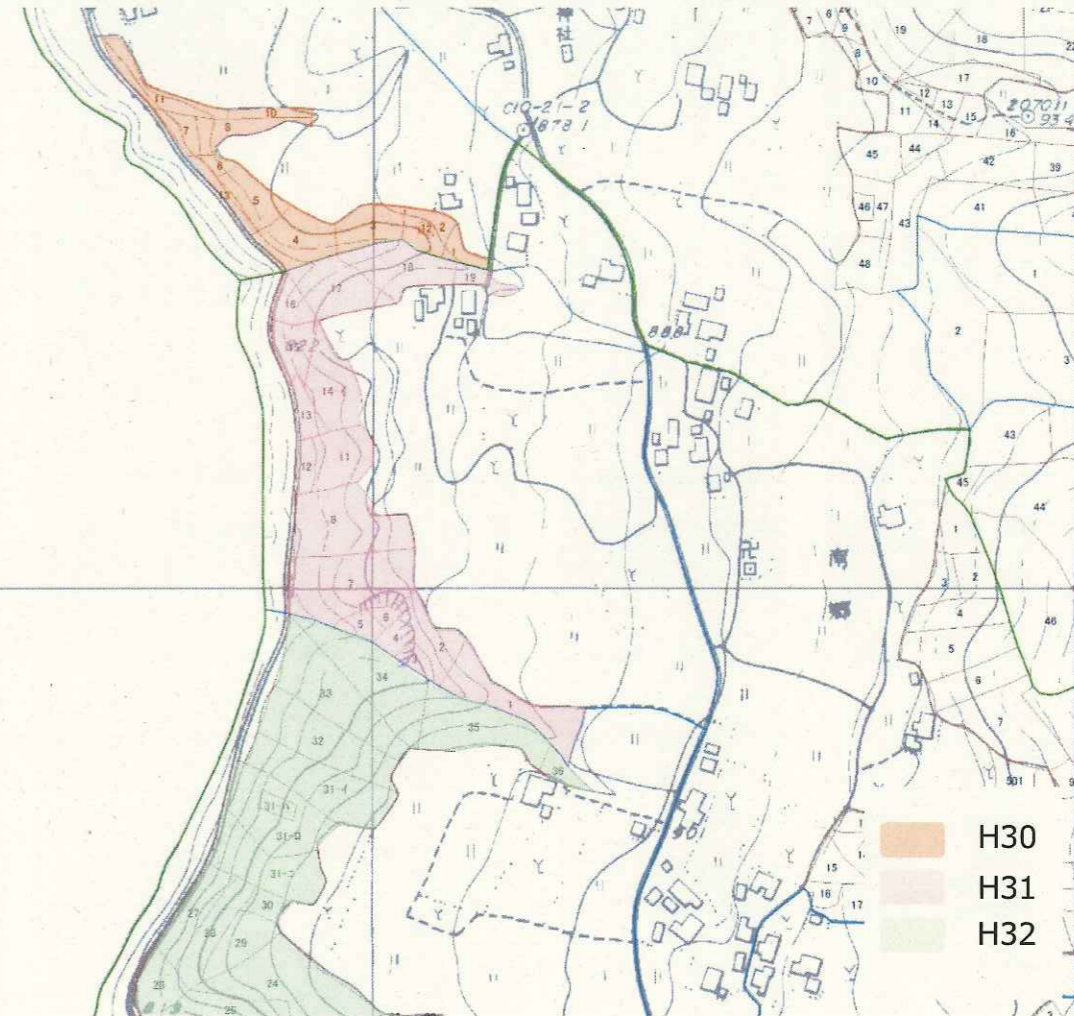


◆地域の現況



◆国道152号線沿線の林縁木の様子

◆各年度計画



◆H30年度計画

- 里山整備利用計画作成
(県民協働による里山の整備利用事業)
- 修景林間整備
(みんなで支える里山の整備事業)



① ますみヶ丘平地林 (伊那市)

面積：65ha
 活動主体：NPO 法人伊那谷森と人をつなぐ協議会
 活動：
 ますみヶ丘に広がる市有林で、学習・交流・情報提供の拠点となる『市民の森林』づくりのために活用に取り組んでいる。

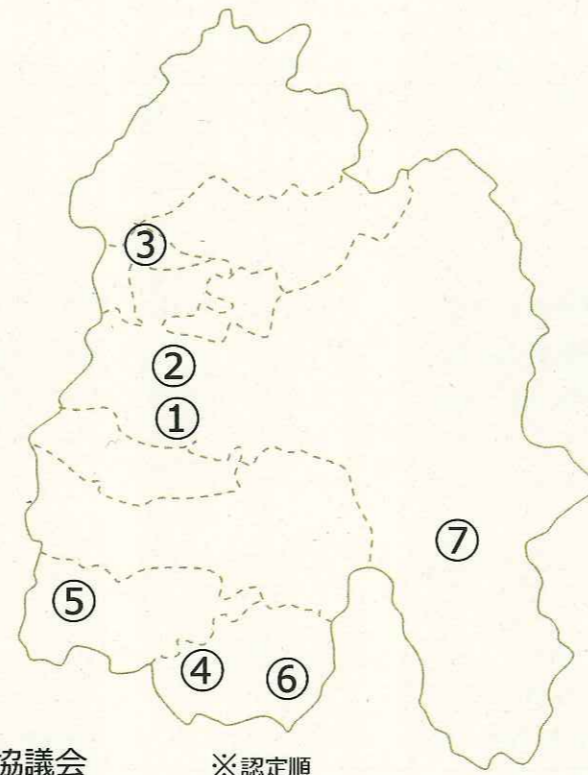
⑤ 町民の森・傘(からかさ)山 (飯島町)

面積：25ha
 活動主体：町民の森里山整備利用推進協議会 (飯島町営業部自然部会)
 活動：
 傘山登山口の町民の森を、憩いの森林として活用していくために、資源を活用しながら整備に取り組んでいる。



② 西箕輪 (伊那市)

面積：1,217ha
 活動主体：西箕輪 薪の会
 活動：
 地域の森林整備を進めながら、薪として森林資源を有効活用し、公民館で利用するなど地域を活性化している。



⑥ 桑原 (中川村)

面積：1,143ha
 活動主体：桑原里山整備推進協議会
 活動：
 地域の山を地域で活用していくために、道路沿線や防災減災に向けた森林整備に取り組んでいる。

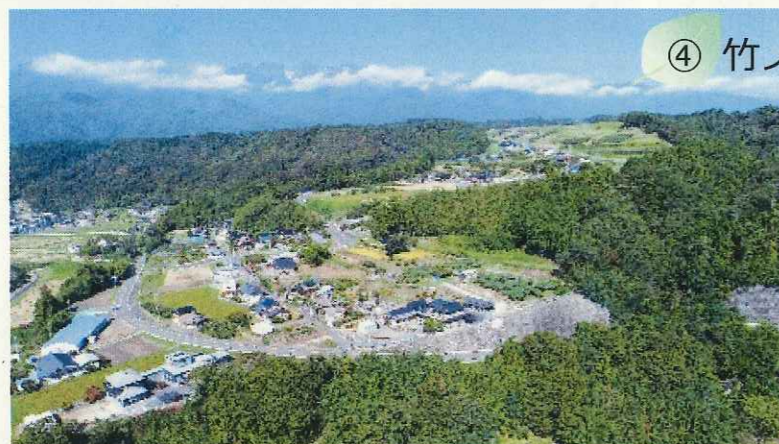


③ 大泉所山 (南箕輪村)

面積：282ha
 活動主体：大泉所山整備利用推進協議会
 活動：
 経ヶ岳山麓の村有林で、豊かな自然を守り、活用することで広く親しまれる森林づくりに取り組んでいる。

⑦ 長谷溝口 (伊那市)

面積：806ha
 活動主体：溝口区里山整備利用推進協議会
 活動：
 地域材を活用した産業の推進や、薪や炭の生産といった森林の多面的な活用を目指した活動に取り組んでいる。



④ 竹ノ上 (中川村)

面積：14ha
 活動主体：竹ノ上里山整備利用推進協議会
 活動：
 各団体と連携して地域の竹林整備を進め、竹の再利用や竹林の再生に取り組んでいる。



山ほいくを楽しもう

高遠第2第3保育園

山岸

1、第2第3保育園の経過

- H26.12月 支援課より保護者会に、園児数が定員の半分を下回る年度が2年続いたら休園という説明がされる。
- H 27.1月～ 保護者会アンケート、県知事に存続を陳情 保護者会にて山ほいく認定制度についての勉強会
 - 6月 地域協議会設立(後に「高遠第2第3保育園と地域の未来を考える会」の名称に変更)
 - 10月 信州やまほいくに認定される(普及型 認証番号1!)
- H 28.7月 中島副知事 園視察・講演
 - 10月 「すみかたろぐ」(移住者向けガイドブック)完成
 - 12月 銀座 NAGANO 移住セミナー
- H29.8月 羊の放牧
 - 3月 『全国学校・園庭ビオトープコンクール 2017』にて協会賞をいただく
- H30.5月 芸大生との交流スタート
 - 10月 芸大生デザイン科等の生徒とワークショップ「てのなかのかたち」
 - 10月 特化型に認定される

2、信州やまほいくとは(信州型自然保育認証制度)

長野県県民文化部次世代サポート課で企画。現在 150 以上の園が承認されている

信州の豊かな自然環境と地域資源を活用した、野外活動を中心とする様々な体験活動を積極的に取り入れる保育・幼児教育のこと。

保育園、認定こども園、幼稚園、野外保育団体など公立私立問わず参加可能。

自然や地域の中での体験活動を通して「自ら学び成長しようとする力」を育てていくことを大切にする。大人が干渉しすぎない環境の中で遊びを通して「自己肯定・創造力・忍耐力・自立心・回復力・コミュニケーション力・自信・健康な心と体等」が育っていくことを目指している。

豊かな自然の中で子育てしたいという若い世代の移住希望者への発信。移住促進

認定区分

普及型・・・1週間で合計5時間以上、野外を中心とした体験活動が行われている。

特化型・・・1週間で合計15時間以上、野外活動を中心とした体験活動が行われている。

通算2年以上の自然体験活動の指導経験がある常勤保育者が半数以上いる。

安全管理の専門講習を受講した常勤保育者がいる。

認定を受けた団体は

県主催の研修会や関連事業に参加できる

研修活動のための補助金制度あり

子ども達が活動する里山の伐採等の林間整備事業補助金制度がある。

(フィールド等整備事業)

活動報告書を毎年度末に提出

5年ごとに認定の更新

最後に

‘やまほいくって大変そう’という声も聞きますが、伊那市の保育園なら日頃やっている保育がすでに‘やまほいく’です。周りの自然環境や地域の方々と連携しながら、保育の質の向上を目指すため、伊那市の認定園が増えていけばいいなと思います。

詳しくは自然保育ポータルサイトをご覧ください。「信州やまほいくの郷」で検索

県内

信州やまほいく制度、新たに34団体認定

県は2019年度、自然を生かした保育や幼児教育の普及を進める「信州型自然保育（信州やまほいく）」認定制度に基づき、県内の保育園や幼稚園など34団体を新たに認定した。

このうち、県外での活動が週5時間以上の「特化型」に認定されたのは、高遠第2、第3保育園（伊那市）など。認可外保育施設の野外保育風の森（大町市）、保育室がまのこ（安曇野市）の計3団体。3団体は里山など信州型自然保育の拠点となり、木の枝や木の葉で遊び道具を作ったりしている。

中島恵理副知事が同日、県庁で各団体の代表者に認定証を手渡した。制度は2015年に始まり、認定団体は38市町村の185団体となった。認定区分は、特化型と、県外の活動が週5時間以上の普及型の2種類。

開き、2019年度税制改正に向けて政府が検討する地方法人の税（事業税、住居税）の税収格差是正に関し、長野県を主とする。都市部が地方に税収を再配分する政府方針に反対する東京都に配慮し、都市部と地方の主張を併記した。近く国に提出する。

長野県は「本来、税収格差の是正は地方税の充実によって対応すべきだ」と指摘する一方、多くの自治体が国が主導する税収再配分による是正を求めていると強調した。

長野県は国への要望で地域公共交通への支援を求めた。阿部守一知事は、道徳免許証返納者が増えていることから公共交通の重要性を強調。関連予算の財源確保や貸付運転の取り組みの規制緩和などを求めた。

防災ヘリコプター整備事故が起きた群馬県は「デジタルパイロット制」に取り組むための人材育成への財政支援などを提案。阿部知事も賛同した。

高遠第2第3保育園 年間遊びカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
散歩	いもり・かに・おたまじゃくし探し お花見 (桜・つつじ) ヨモギ摘み 山探検 山羊を見に行く 鹿の角探し	カエル取り 虫探し カニ取り イモリ取り わらび採り マレットゴルフ場の芝滑り 馬耕 国少のやま探検	タケノコ取り クワの実・木いちご取り 雨降り散歩 春ゼミ・抜け殻さがし 梅もぎ	昆虫探し ネイチャーゲーム(葉っぱ探し等) 沢遊び 山アジサイ あやめ ほうの葉 川遊び(親子遠足)	山探検 夏ゼミ・カブトムシ探し お家作り	山探検 お家作り きのことり 栗拾い あけび すすき
園庭遊び	泥だんご作り すべすべクッキーづくり 草花遊び	花の種まき 泥んこ遊び 砂のトンネル作り ロードレース 草花遊び(指輪・ネックレス・ケーキ・水車・) 色水遊び	砂場で泥んこ・水遊び スプリングラー遊び おとしぶみ ハラビロトンボ あやめ	水遊び プール遊び シャボン玉 砂場で泥んこ スプリングラー遊び そうめん流しごっこ	水遊び プール遊び シャボン玉 色水遊び(朝顔) 羊の放牧	泥団子作り すべすべクッキー作り
飼育	年間通して飼育	いもり・かに・めだか・どじょう・おたまじゃくし・かえる・やご・かぶとむし・ばった・かまきり等				
クッキング	お花見給食	ヨモギ団子作り	梅ジュース作り	パン作り 野菜を食べる(トマト・きゅうり・ピーマン・かぼちゃ・なす)	ピザ作り 野菜を食べる(トマト・きゅうり・ピーマン・かぼちゃ・なす) 夏祭りの豚汁作り	収穫した野菜を食べる
畑活動	じゃがいもの種を植える 花の種まき	野菜の苗植え	サツマイモの苗植え 大豆の種まき 畑の草取り	夏野菜の収穫 ジャガイモの収穫 草取り	夏野菜の収穫	大根の種まき
制作	桜の絵を描く	イモリの絵 新緑の山の絵	七夕飾り 野菜の絵	お神輿づくり	やさいスタンプ 羊の絵	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
山探検 どんぐり・まつぼっくり きのこ 紅葉・イチョウ等落ち葉遊び なつめとり たきぎ拾い	山探検 どんぐり・まつぼっくり きのこ 紅葉・イチョウ等落ち葉集め リンゴ狩り 柿取り	山探検	動物の足跡探し 土手すべり 雪遊び 氷遊び	福寿草	イモリ探し 春探し(木の芽・草の芽・ふきのとう)
泥団子作り すべすべクッキー作りままごと(クッキー・ケーキ・チョコレート作り) ドッジボール	泥団子作り すべすべクッキー作りままごと(クッキー・ケーキ・チョコレート作り) ドッジボール モグラの穴掘り	霜柱・氷遊び かき氷やさん	雪遊び(雪合戦・かまくら・ままごと) ソリすべり		
	焼いも 豚汁作り カレー作り 干し柿作り	大根のにこごり 干し柿を食べる	もちつき しみ大根づくり		
さつまいもの収穫	玉ねぎの苗植え 大豆の収穫				
さつま芋の絵	自然物を使った製作(どんぐり・まつぼっくり・クリ・枝・落ち葉・木の実等) リース作り	しめ縄作り 正月飾り	節分の豆・お面・ます作り	ひな人形	

高遠第2・第3保育園

住所：伊那市高遠町藤沢2255 定員：45名

信州やまほいく認定園家庭的な温かみのある雰囲気の中でゆったりと、山々に囲まれた豊かな自然の中をのんびりと、地域のみなさんと楽しく交流しながら、全年齢いっしょに元気よく遊んでいます。



信州やまほいく認定園

森の中で読み聞かせ



大自然の中でイモリ採り



い〜なぐるぐるっ子

チャレンジ
したがる
エピソード

「うら山のたんけん！」

高遠第2・第3保育園は毎日のように、自然を生かした保育に取り組んでいます。園舎の後ろに隣接している裏山は四季を通じて、子ども達の遊びや生活の場になっています。自然の中でのびのび遊びこむことで「考える」「試す」「創造する」「工夫する」といった学びが生まれ「生きる力」の基礎を育てています。



木登り



木の鉄棒



ハルゼミの羽化



みんなで
作った家



たけのこ採り



木の電車

保育士のコメント

森の中は木が生い茂る、少し怖くて少しわくわくする。見たことのない花が咲きいつもと違う匂いがする。ちょっと怖いけど、それ以上に魅力的な場所。子ども達の気持ちと体を強くしてくれる。ただの丸太も友達と一緒に乗ることで電車になる、そこがまた面白い。



伊那西小学校林の整備について

上伊那地域振興局 林務課

1 学校林の概要

- (1) 所有者 伊那西小学校
- (2) 面積 1.36ha
- (3) 樹種、林齢 アカマツ、カラマツ 68年生
- (4) 沿革
昭和25年 伊那西小学校開校
昭和26年 校舎南にカラマツ2,500本植樹

2 学校林活用の状況

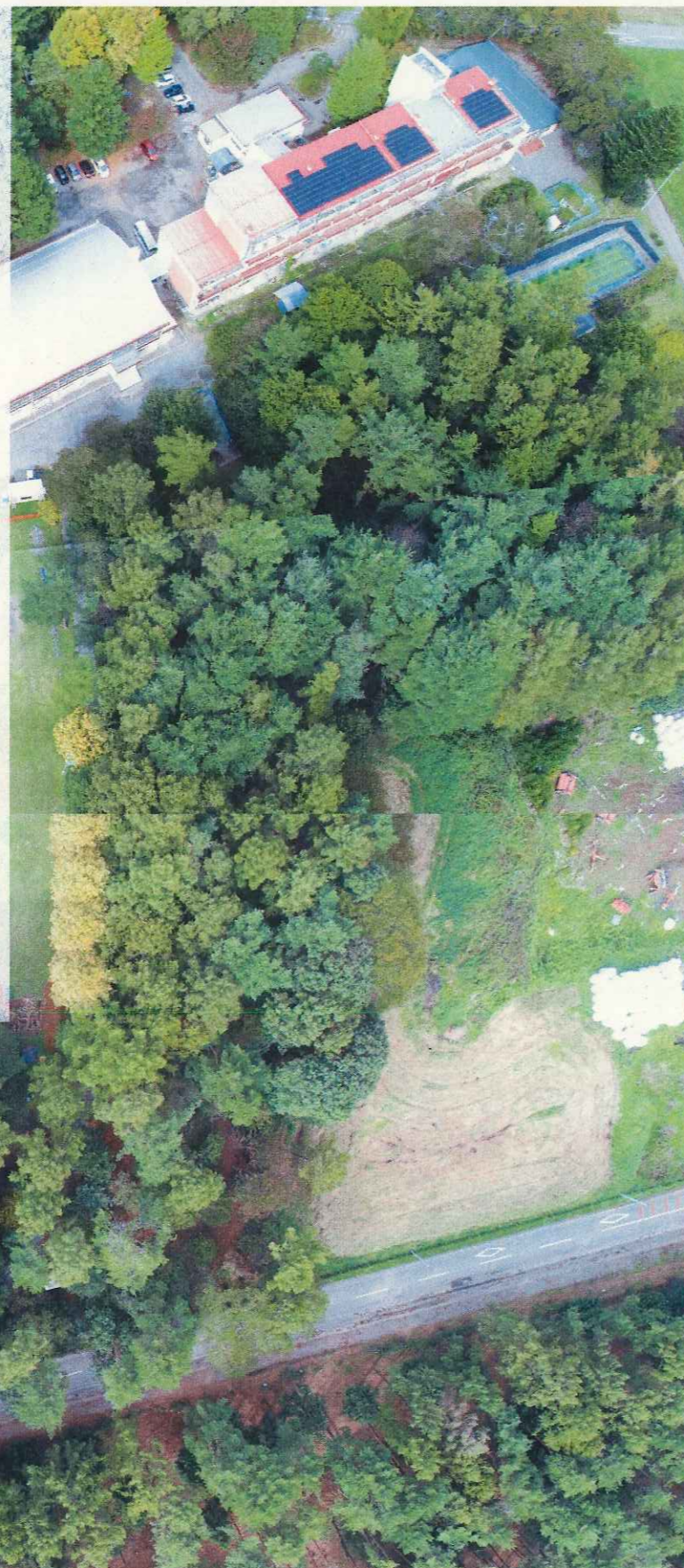
- ・学校林内の「マラソン」「しいたけ栽培」「飯ごう炊さん」「もの作り」
- ・地域の講師を招いての森林と関わる体験、自然学習
- ・総合や図工、算数、音楽などの教科学習 など

3 学校林整備のきっかけ

平成30年4月から伊那西小は小規模特認校に認定され、市内各所から通学できることとなった。

以前から教育に活用していた学校林の取組を発展させ「“自然と親しみ、科学する”伊那西っ子」をテーマとした教育課程を特色とすることで、伊那西小児童の増加を図っている。

一方、松くい虫による被害など危険木も散見されてきており、「安全で親しみやすい学校林」「学びを深める学校林」に向けた計画的な森林整備が必要となってきた。



4 学校林の整備に向けた取り組み

伊那西小の学校林は、昭和26年の植樹後、在校生を始め多くの地域住民の手で育てられて成熟期を迎えている。

このため、整備後の活用方法などについて、地域住民の合意形成して学校林の整備を考えており、平成31年度の学校林整備に向けて次の取組を進めている。

学校林の活用についての懇談会

(区長、PTA三役、地区役員等) 9月20日



学校林森林調査

(児童、PTA、地域住民参加) 10月27日



施業指針案の作成 (黒河内東京大学助教授、(株)やまとわ)

ワークショップの開催 (PTA、地域住民等)

施業指針を作成し伊那市へ提示 (伊那西小、(株)やまとわ)

学校林整備を実施 (伊那市)

[平成31年度 学校林等利活用促進事業 (長野県森林づくり県民税)]

森のアドバイザー

黒河内寛之氏
東京大学大学院
農学生命科学研究所助教授

地域アドバイザー

中村博氏
株式会社 やまとわ代表

平成30年度 森林づくり県民税活用状況

平成30年11月1日現在

事業区分	事業主体	県		上伊那地域振興局 管内		
		目標数	予算	予算	予定数	実施予定課所等
間伐等森林整備	・みんなで支える里山整備事業	1,290ha	272,591	20,000	75ha	【3期分のほかに2期分の繰越は221ha 57,080千円を実施中】
	・里山整備方針作成事業	120地域	25,200		8地域	
	・県単河畔林整備事業	9箇所	112,500	5,000	1箇所	伊那市「小黒川」
	・みんなで支える里山整備事業	15箇所		4,050	2箇所	伊那市「思沢川」、伊那市・南箕輪村「鳥谷川」
県民協働	市町村 事業体	150ha	53,357	11,000	1ha	(伊那市溝口の道路沿線の特殊伐採)
	市町村 協議会	50地域	9,800	932	5地域	中川竹の上(100)、中川桑原(130)、南箕輪大泉所山(357)、飯島町の森(170)、伊那市溝口(175)、伊那市長谷(計画中)
	協議会	50地域	33,750	2,869	3地域	中川村竹の上(1,035)、中川桑原(1,026)、飯島町民の森(808)
	事業体等	900ha	14,400	3,240	210ha	伊那70ha、駒ヶ根60ha、辰野30ha、中川30ha、宮田20ha
木材利用	・県産材公共サイン作成					
	・子供の居場所木造・木質化	5箇所		-	-	
	・木の調度品、おもちゃ等設置	30箇所	41,340	822	3箇所	伊那北・上野原・美篁西部保育園
	・木工体験活動	26箇所 (6,000)		1,590	7箇所	伊那市創造館(2)、伊那市(2)、中川村、伊那市振興審議会、箕輪北小学校
	・薪流通の仕組み構築モデル	3件	3,750	1,875	1箇所	中川村 木の駅プロジェクト
	・松くい虫被害木材活用	10市町村	18,000	-	-	
人材	・里山整備利用地域リーダー育成	30人	2,751			
	・森林セラピー推進(人材育成)		1,756			
森林の利活用	・学校教育等利活用促進事業	16校	12,550	3,513	4校	伊那市(西箕輪小、西箕輪中)、南箕輪村(南部小)、中川村(中川西小)
	・信州やまほいく環境向上事業	9園	5,325	1,233	2園	伊那市(高遠第2・3保育園)、箕輪町(長田保育園)
	・まちなか緑地整備事業	4箇所	4,000	-	-	
	・観光地の景観整備	6箇所	16,000	-	-	
観光地景観	・観光地等魅力向上森林景観整備	10箇所	7,605	1,140	1箇所	駒ヶ根市 駒ヶ根高原 事業費減1,800⇒1,140
	・森林セラピー基地整備	7箇所	15,765	1,697	1箇所	箕輪町豊ヶ高原(388)、中川村陣馬形山(990)、宮田村宮田高原(1,080)
・森林づくり推進支援金	市町村	77市町村	90,000	8,901	8市町村	南箕輪村 大芝高原(間伐) 事業費減 8,100⇒1,697
・普及・啓発、評価・検証	県		12,038	671		
計			752,478	65,696		△ 3箇所 9,521千円